

平成23年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年5月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,147億円余
2. 前年同月比	-5.5% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.9%(88.7%) : 非店頭-16.3%(11.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成23年3月対比-1社・-2店)
5. 総店舗面積	937,107㎡ (前年同月比:0.3%)
6. 総従業員数	19,302人 (前年同月比:-8.7%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 -0.2%、10-12月 0.8%、11-1月 0.4%、 12-2月 0.8%、1-3月 -6.6%、2-4月 -9.2%

[参考] 平成22年4月の売上高増減率は-4.9% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

- (1) 都内各店の4月の入店客数は概ね1割前後減少したが、その背景には、東京の場合、特に初旬まで営業時間を短縮した店舗が多かったことや、一部催事を延期又は中止するケースが発生したことなどがあげられる。加えて、消費者が外出を控える傾向も広がったため、都心部の店舗は集客に苦戦する状況となったが、対照的に郊外店は入店客数・売上高共に好調に推移した。
- (2) 節電意識が浸透した結果、それに関連して夏の暑さ対策に向けた需要が喚起され、紳士衣料を中心にクールビズ商戦が前倒しでスタートしたほか、リビング分野でも涼感寝具や遮光カーテン等が売上を大きく伸ばしている。
- (3) 震災を受けたアクションとして、各種募金活動や東北物産の訴求など被災地支援をテーマとした各種催事が企画され、都内各店で積極的に展開された。
- (4) 季節催事である母の日商戦は各店好調に推移した。この背景として、震災の影響から家族の絆を再確認する社会的気運が醸成されたことなどが考えられる。日傘、扇子、帽子等の雑貨類、あるいは花、和菓子など定番商材に動きが見られた。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した:3店、②変化なし:2店、③減少した:14店、④不明:2店
- (3) 4月歳時記(春物商戦、新生活、花見、昭和の日)の売上(同上)
①増加した:1店、②変化なし:6店、③減少した:6店、④不明:8店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
①増加する:1店、②変化なし:9店、③減少する:8店、④不明:3店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年04月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	114,732,061	100.0	-5.5 (-5.9)
紳士服・洋品	8,885,380	7.7	-3.4 (-3.6)
婦人服・洋品	24,142,381	21.0	-5.5 (-7.3)
子供服・洋品	2,859,660	2.5	3.6 (3.6)
その他衣料品	2,051,665	1.8	-11.2
衣 料 品	37,939,086	33.1	-4.7 (-5.9)
身のまわり品	16,354,204	14.3	-4.2 (-5.6)
化粧品	6,247,348	5.4	-6.4 (-8.5)
美術・宝飾・貴金属	5,666,352	4.9	-10.8
その他雑貨	6,554,411	5.7	-3.9 (-4.1)
雑 貨	18,468,111	16.1	-7.0 (-7.7)
家 具	1,842,825	1.6	-6.9 (-7.2)
家 電	562,394	0.5	-15.0
その他家庭用品	4,746,501	4.1	-6.2 (-6.1)
家 庭 用 品	7,151,720	6.2	-7.1 (-7.2)
生 鮮 食 品	4,556,548	4.0	0.6 (4.3)
菓 子	7,130,302	6.2	-1.4 (0.1)
惣 菜	5,803,156	5.1	-4.3 (-2.2)
その他食料品	8,433,495	7.4	-5.1 (-4.2)
食 料 品	25,923,501	22.6	-3.0 (-1.2)
食 堂 喫 茶	2,716,531	2.4	-9.5 (-9.9)
サ ー ビ ス	2,867,482	2.5	3.3 (0.4)
そ の 他	3,311,426	2.9	-25.7 (-25.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	7,541,552 千円	16.6 (16.2)
従 業 員 数	19,302 人	-8.7
店 舗 面 積	937,107 m ²	0.3

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、2か月連続で全品目がマイナスとなった。また、子供服・洋品が4か月ぶり、生鮮食品が5か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-5.5	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-3.4	-0.3	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.5	-1.2	2か月連続マイナス
子供服・洋品	3.6	0.1	4か月ぶりプラス
その他衣料品	-11.2	-0.2	36か月連続マイナス
衣料品	-4.7	-1.6	2か月連続マイナス
身のまわり品	-4.2	-0.6	2か月連続マイナス
化粧品	-6.4	-0.4	2か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-10.8	-0.6	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-3.9	-0.2	35か月連続マイナス*
雑貨	-7.0	-1.1	2か月連続マイナス
家具	-6.9	-0.1	3か月ぶりマイナス
家電	-15.0	-0.1	4か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-6.2	-0.3	2か月連続マイナス
家庭用品	-7.1	-0.5	2か月連続マイナス
生鮮食品	0.6	0.0	5か月ぶりプラス*
菓子	-1.4	-0.1	2か月連続マイナス*
惣菜	-4.3	-0.2	6か月連続マイナス*
その他食料品	-5.1	-0.4	3か月連続マイナス*
食料品	-3.0	-0.6	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-9.5	-0.2	6か月連続マイナス
サービス	3.3	0.1	13か月連続プラス
その他	-25.7	-0.9	13か月ぶりマイナス
商品券	16.6	0.9	21か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>